

自己ベスト更新を目指し奮闘 県民スポーツ大会兼片倉杯本荘ジュニアカヌー大会

6月1日、竹嶋潟にて県民スポーツ大会兼片倉杯本荘ジュニアカヌー大会が行われました。昨年度全国大会で優勝、準優勝だった須藤選手、佐々木選手（ともに平沢小5年）、パラリンピックカヌー代表を目指す渡邊選手など、小学生から成年までの選手たちが参加し自己ベストタイム更新を目指し、力の限りパドルを漕ぐ様子が見られました。



▲自己ベスト更新を目指し奮闘する選手たち

花のいろどりで心豊かに 花いっぱい運動

6月7日、仁賀保・金浦地域の国道7号沿線で花いっぱい運動が行われました。風力発電などの再生可能エネルギー発電事業者からの協力金を財源とした環境美化活動として実施していて、今年で7年目になります。地元企業の皆さんなど156人がボランティアとして参加し、23箇所の花壇にマリーゴールドやペゴニアなど約8,000本を植栽しました。



▲色とりどりの花を植栽する参加者

木漏れ日のさす土舞台で 小滝のチョウクライロ舞

5月31日、金峯神社境内で国指定重要無形民俗文化財「小滝のチョウクライロ舞」が披露されました。御宝頭獅子舞で土舞台を清めたあと、九舎の舞や荒金の舞、太平楽の舞など悠久から受け継がれる7演目を披露。心配された雨も上がり、時折木漏れ日のさす土舞台で、児童たちはこの日のために必死に練習した舞を堂々と披露しました。



▲あでやかな衣装と花笠で小児の舞を披露する児童

家族と一緒に 友達と一緒に 第1回にかほこども食堂フェス

6月1日、市内飲食店を中心とした有志による第1回にかほこども食堂フェスが市内で初めて開催されました。会場となった㈱プレステージ・インターナショナル秋田BPOにかほキャンパスには、市内外からたくさんの親子連れが訪れ、200円で提供されるこの日だけの限定メニューや、無料のライブパフォーマンスと一緒に楽しむ姿が見られました。



▲大勢の人で賑わう飲食ブース

九十九島でネイガーと田植え体験 演歌歌手・朝花美穂さん来市

5月22日、演歌歌手の朝花美穂さん（鳥取県米子市出身）がにかほ市を訪れ、田植えを体験しました。今回、にかほ市出身者の縁で来市した朝花さんは、米作り体験として株式会社権右衛門さんの圃場でネイガーと一緒に田植え機に乗り、自らも操縦しながら田植えを行いました。秋には収穫体験も行う予定で、今後も1年を通して米作りを体験します。



▲ネイガーの指導で器用に田植え機を操る朝花さん

姉妹都市締結35周年を記念して ショウニー市代表団来市

5月27日から6月2日にかけて、アメリカ・オクラホマ州ショウニー市から姉妹都市締結35周年を記念し、代表団員7人が本市を訪れました。今回は、ショウニー市姉妹都市委員会のメンバーなどが中学生訪問団と同じようにホームステイし、TDK歴史みらい館や白瀬南極探検隊記念館を見学、茶道体験などで日本の文化とにかほ市を満喫しました。



▲議場での一コマ。気分は Mayor(市長)かな！？

持続可能な地域運営のために 春の行政懇談会

5月20日、市当局と各自治会長が一堂に会する行政懇談会がスマイルにて行われました。市川市長をはじめとする市当局から主要事業や課題などが報告された後、各自治会長から質問や要望等が出されました。また、市では初となる集落点検の実施について説明があり、持続可能な地域運営に向けた取り組みへの協力を呼びかけました。



▲当局へ質問する自治会長

生活クラブ風車と地域間連携の歩み 「夢風」10周年記念フォーラム

5月25日、生活クラブ風車「夢風」10周年記念フォーラムが開催されました。慶應義塾大学名誉教授の金子勝さんによる基調講演と関係者によるパネルディスカッションが行われ、地域に資する風車のあり方などを議論。前日には、院内地区に新設された風車「千颯(ちはや)」の竣工式が行われるなど、地域づくりのモデルとして発展が期待されます。



▲気候変動は私たちの生活に直接影響しています